

Gemini の 機能・プラン

簡単まとめガイド



Geminiとは

Geminiは、Googleが開発・提供する生成AIです。

テキスト生成だけでなく、**画像・音声など複数の情報形式を扱えるマルチモーダルAI**である点が特徴です。とくにテキスト・画像・音声・動画を「1つの共通言語」として学習するネイティブ マルチモーダルとロングコンテキスト機能に強みがあります。

Geminiの主な特徴

- ✓ Google検索と連携し、最新情報を参照しやすい
- ✓ Gmail、Google Docs、Calendar などと親和性が高い
- ✓ 文章生成・要約・翻訳・分析など、日常業務に幅広く対応
- ✓ 個人利用から法人利用まで、複数のプランが用意されている



Geminiでできること

主な機能一覧

テキスト・推論関連

- 文章生成（メール、資料下書き、説明文など）・要約・翻訳 ※「思考レベル（高速モードや思考モード）」の調整が可能
- アイデア出し、文章の言い換え
- 基本的なコード生成・説明支援
- 「エージェント機能」によるプログラムの修正や実行エラーの自己解決

マルチモーダル処理 （見る・聞くの進化）

- 画像・映像の内容理解・説明
- 音声データの文字起こしや要約
- 図表や資料を含む内容の理解補助
- Nano Bananaモデルによる高品質な画像生成
- Veo 3.1による4K動画生成
- Gemini Liveによるリアルタイム会話で、アイデアの壁打ちやスピーチのリハーサル

Googleエコシステムとの連携による業務活用の例

- Gmailでの返信文案作成（過去のやり取りを把握）
- Google Docsでの文書要約・構成整理
- Google フォトに話しかけながら編集
- 会議メモや議事録の整理
- 学習・調査の補助

Geminiのプラン構成 1

Geminiは、利用目的に応じて大きく3つの利用形態に分かれます。

■ Gemini（無料版）

概要	特徴	向いている利用者
- Googleアカウントがあれば無料で利用可能 - 日常的なチャットや簡単な文章作成に対応	- 数千行のコード分析や長いレポートの要約も可能 - 学習支援、簡易的な業務補助に十分な性能 - 利用回数や処理量には一定の制限あり	- 数式の解説を受けたい学生・受験生 - 旅行の計画など趣味に利用したい人 - 画像処理など生成AIを試してみたい人 - 簡単な文章作成や調べ物が中心のビジネスパーソン

■ Google One AI プラン（個人向け有料版）

概要	主な特典	補足	向いている利用者
Google AI Pro （従来の「Advanced」に相当） 月額 2,900円程度 Google AI Ultra （プロフェッショナル・開発者向け） 月額 36,400円前後の超高性能版 Google AI Plus 月額 1,200円程度のライトな有料プラン （2026年1月より順次展開） - 無料版（Gemini 3 Flash）より「処理の深さ」と「量」において高性能な Gemini モデル	2TB（ライトプランは200 GB）のGoogle One ストレージが付帯 - Gemini 3 Pro / Ultra クラスの利用により長文・複雑な指示に対応 - エージェント機能である Deep Research により、分析結果のレポートを自動作成 - 動画生成（Veo）や画像生成（Nano Banana）において、Advanced ユーザーはより高解像度で、生成回数の上限が大幅に緩和 - 高度な推論や分析向け機能が段階的に提供	- 提供されるモデル構成や機能名称は、時期により変更されることがある - 高度分析機能や自動化機能は、利用環境により差がある	- 専門的な調査・学習を行う個人 - 生成AIを業務レベルで活用したいビジネスパーソン - AIによる高品質な画像や短尺動画をコンスタントに生成したいクリエイター

Geminiのプラン構成 2

法人向けプランの位置づけ

Gemini for Google Workspace は、**組織利用を前提とした Gemini の法人向けプラン**です。Gmail、Google Docs、Sheets、Slides などに Gemini の機能が直接組み込まれます。

■ Gemini Business

概要	特徴
- 組織で Gemini を利用するための標準プラン - 個人向け有料版相当の機能をチームで利用可能	- Google Workspace への直接統合（文書作成・要約・メール支援を業務フローに統合） - 管理者による利用制御が可能（使用許可の組織単位のオン/オフ、データの保護）

■ Gemini Enterprise

概要	特徴
- 大規模組織向けの上位プラン - 個人向け有料版相当の機能をチームで利用可能	- Meet での 1,000 人規模の会議など会議関連機能の強化 - セキュリティ・監査・管理機能の強化 - 情報統制が求められる企業向け


法人向け共通の
重要ポイント

- 入力データがAIの学習に利用されないことが規約上明示
- 管理者による権限管理・ログ管理が可能
- 情報システム部門・法務部門の要件に対応しやすい

まとめ

- ✓ Geminiは、Google検索・Workspaceと親和性の高い生成AI
- ✓ 無料版はスマートな検索の延長に、有料版はクリエイティブな思考に適性あり
- ✓ 法人利用では、データ保護と管理機能が大きな判断ポイント

個人の生産性向上から、組織全体の業務効率化まで目的に応じたプラン選択が、Gemini活用の鍵となります。



【当資料における免責事項】

本資料は、作成時点（2026年2月）における公開情報を基に作成しております。

AI技術および関連サービスは極めて変化が速く、各ツールの料金体系、プラン内容、提供機能（UI/UX含む）などは、頻繁にアップデートが行われます。

そのため、本資料の閲覧時には情報が古くなっている可能性がございます。当社としても定期的な情報のキャッチアップと資料のアップデートに努めておりますが、あまりに変化のスピードが速いため、すべての変更をリアルタイムに反映することが困難な場合がございます。

そのため実践の際は、あくまで作成時典の参考情報としてご覧いただき、最新の正確な情報は各サービスの公式サイト等でご確認ください。